

平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 軽 金 属 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 山 喬  
(コード番号：5701 東証、大証)  
問 合 せ 先 広 報 ・ I R 室 長 野 中 由 憲  
(電話 03-5461-9333)

## 中期経営計画(2010 年度～2012 年度)の策定について

日本軽金属株式会社(社長：石山喬、以下「日軽金」)は、2010 年 4 月を起点とする 3 ヶ年のグループ「新・中期経営計画」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 新・中期経営計画策定の目的・背景

前・中期経営計画(2007 年度～2009 年度)については、米国発のサブプライムローン問題に端を発した世界同時不況による需要の大幅減、さらには原燃料・製品市況の急激な変動に伴う在庫評価損失の発生など、策定時に想定した事業環境が著しく悪化した結果、本計画の数値目標には大きく及びませんでした。

しかしながら、人口減少等を背景とする日本の潜在成長率の鈍化、中国をはじめとするアジア市場の伸張等といった大きな動きの中で、建材事業の新日軽株式会社の全株式を 2010 年 4 月 1 日に株式会社住生活グループに譲渡するなど構造改革を断行する一方、前・中期経営計画の基本方針に基づく成長分野への取組み、中国・東南アジアを中心とする海外事業展開を一段と加速することにより、ビジネスチャンスが広がりました。

このたび策定した新・中期経営計画においては、足下の状況を踏まえ経営基盤の一層の強化を図る一方、アルミ素材関連の基礎技術に磨きをかけ、この技術を活かした新商品・新技術の創造、中国・東南アジアへの事業戦略等を通じて顧客価値を高めることに注力するなど、建材事業譲渡後の日軽金グループの成長戦略を明確にしております。

### 2. 新・中期経営計画の概要

本経営計画では、2012 年度までの 3 ヶ年を「日軽金グループの新成長戦略を具現化する時期」と位置づけ、次の 8 項目を日軽金グループの目指すべき基本方針といたします。

#### ①成長分野を攻めるユニットへの経営資源の重点的投入

自動車、電気・電子材料、情報・通信、環境・安全・エネルギーの 4 分野は、今後の成長や新たな用途開発が見込める分野であり、研究開発、設備投資などに重点的に経営資源を投入するとともに、成長戦略を支えるための体制の強化を図っております。

#### ②業界 NO. 1 ビジネスのさらなる強化

アルミナ・化成品、アルミ箔、トラック架装、パネルシステム、自動車塗料用ペースト、太陽電池関連部材をはじめとする業界トップシェアを有する分野においては、新製品の拡販、生産性の向上、新たな海外市場の開拓等を通じて、圧倒的な競争力を確立してまいります。

③中国、東南アジアを中心とする海外ビジネスの展開加速

持続的な成長を続ける中国、東南アジア市場において、パウダー・ペースト、アルミニウム合金、自動車部品等を中心に海外拠点の能力増強を行うとともに、M&A、アライアンスなどの機動的な活用を含め新規事業進出を積極的に行い、海外ビジネスの拡大を図ります。

④要素技術複合化による用途開発と新商品の創出

既存の先端商品・機能にグループ会社が保有する多彩な素材・加工技術を融合・深化させることにより、環境・エネルギー関連市場を中心に新用途や新商品を創出してまいります。

⑤アルミニウムの特性の追求による地球環境保全への貢献

地球温暖化防止に向けての自主行動計画を進める一方、環境に優しい製品の提供、リサイクルの推進を通じて地球環境問題への寄与を高めてまいります。

⑥財務体質改善と復配

建材事業売却による資金を成長分野へ投資するとともに、キャッシュフローと収益の管理を徹底し、2007年度以降の収益悪化で影響を受けた財務体質の再強化を図るとともに、早期復配を実現してまいります。

⑦人‘財’の育成と活用

開発・製造・販売・管理の現場力の向上を図るとともに、今後の事業の多様化と拡大を実現できる人財の育成、投入に注力してまいります。また、一人ひとりの多様な個性・スキルを引き出すための人財マネジメント機能の強化を図ってまいります。

⑧CSR（企業の社会的責任）推進とコーポレートガバナンス強化

ステークホルダーとの信頼関係の基本である、コンプライアンスの徹底、環境・安全・防災等のリスク管理について、真摯な努力を継続するとともに、今後の事業運営に際して、公正・透明なコーポレートガバナンスを徹底してまいります。

3. 数値目標

(金額単位：億円)

	2010年3月期	2011年3月期	2013年3月期
売上高	4,607 ※	3,800	4,300
営業利益	77	160	270
経常利益	27	100	200
当期利益	21	55	120
有利子負債	2,212	2,070	1,970
ネットD/Eレシオ(倍)	2.0	1.7	1.4
ROCE(%)	2.2	5.0	9.1

※4月1日に譲渡した新日軽を除いた売上高は 3,441 億円です。

以上